

研究課題名：	大腸癌術後のサルコペニアと補助化学療法の完遂及び栄養関連有害事象との関連
所属（診療科等）：	公立昭和病院（栄養科）
研究責任者（職名）：	猪瀬佳代子（管理栄養士）
研究代表者（所属）	西岡心大（長崎県立大学大学院地域創生研究科教授）
試料・情報の提供責任者：	公立昭和病院 院長 坂本 哲也
試料・情報の管理責任者：	
研究期間：	2026 年 9 月 11 日 ～ 2029 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	大腸癌術後サルコペニアが補助化学療法の完遂および栄養関連有害事象に及ぼす影響を明らかにするとともに、サルコペニア判定方法の違いによってアウトカムとの関連が異なるかについて検討する。これにより、術前からのサルコペニア評価の重要性や、術前・術後のサルコペニア患者に対する栄養介入を検討するための基盤となる知見を得る。
研究内容：	●対象となる患者さん 2022 年 1 月 1 日～2026 年 8 月 31 日までに消化器外科に入院し、大腸癌に対して大腸切除術を施行された、病期 Stage II または III の 50 歳以上の患者さんのうち、術後補助化学療法を施行された方 ●利用し、又は提供する試料・情報の項目 補助化学療法内容、栄養関連情報、基礎情報、疾患関連情報、血液検査等のデータ ●提供する試料・情報の取得方法 電子カルテより取得 ●試料・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供する場合は、その方法を含む） 集めたデータは、研究責任者の責任下で公立昭和病院内のパスワード付き PC に保管する。長崎県立大学で解析を行う際は、個人を特定できないよう仮名加工情報とした上で提供する。対応表は公立昭和病院内で別途作成し、保管管理者の責任のもと、パスワードを付与して公立昭和病院のイントラネット上で保管し、院外には持ち出さない。研究終了後 5 年を経過した後、公立昭和病院および長崎県立大学双方の電子媒体上の研究データを、データ削除ソフトを用いて完全に削除する。 ●利用する者の範囲（当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称） 長崎県立大学大学院地域創生研究科臨床栄養学研究室
問い合わせ先：	【研究担当者】（研究全般に関すること） 例 1．研究計画や研究方法に関する資料の入手・閲覧に関すること 例 2．試料・情報の利用又は多機関への提供を停止する旨に関すること 例 3．研究により得られた結果等に関すること 氏名：猪瀬佳代子（栄養科） 住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912 【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）